



こんにちは、岡田よしひでです

2020年5月31日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.38

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

5月臨時議会で質問

臨時議会が5月22日から27日まで開かれました。22日は桑名新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員長報告、濱田知事の議案説明。26日は各会派の質疑と、各常任委員会。27日は、各常任委員会のとりまとめと採決。続いて本会議で各常任委員長報告、議案採決。補正予算案など9件を全会一致で可決。新型コロナウイルス感染症対策に係る交付金の飛躍的増額を求める意見書を全会一致で議決し、閉会。



臨時議会で質問=5月26日

緊急事態宣言が解除された今こそ、次の感染の波に備えることが必要であり、検査体制の拡充と医療体制の整備を求めました。濱田知事はPCR検査機を増加し、一日当たりの検査数を増やすなどと答えました。

鎌倉健康政策部長は、今後の波に備え、入院先166床を確保していると答弁。厚労省が示した高知県のピーク時の一日当たり患者数(1500人)に比べるると足りない」と指摘しました。

国の持続化給付金が、前年度と比べて売り上げ50%減が要件になっていることから、減少率50%未満の事業者を対象とする県独自の給付金の創設を提案しました。知事は「どのような支援が必要か幅広く検討していく」などと答えました。

民青同盟県委員会の実態調査によって、県内の学生がアルバイト収入が減るなどして学費や生活費の負担が大きくなっている実情が明らかになったことを示し、支援を強く求めました。知事は、各大学が把握している実態を集約し、必要な取り組みを検討したいと述べました。



危機管理文化厚生委員会



委員会=5月26日

危機管理文化厚生委員会は5月26日、付託された4件の議案質疑、27日に委員長報告のとりまとめと採決。全会一致で全件可。9人中、共産党委員は、塚地さち県議と私の二人です。

持続化給付金の申請援助を

国の制度で電子申請。商工会や民商などが手続きを支援しています。ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少している事業者が対象で、中小法人等2百万円、個人事業者等百万円が受けられます。窓口の増加、手続の簡素化、紙での申請を認めるよう求めました。

おむすび通信 (38)

南国市立スポーツセンターの南側を流れる鏑野川の土手道、田んぼの土が流れて地盤沈下しており、5月28日、相談者の地権者、農業委員と県中央東土木事務所に調査と対策を申し入れ、一緒に現地を見ました。アスファルトの下に土砂がない所もありました。応急処置し、秋には調査をしていただきます。